

顎変形症治療入門（西久保周一）

Introduction to Jaw deformity treatment (Shuichi Nishikubo)

キーワード

①顎変形症
②睡眠障害
③成長発育
④診断
⑤治療

関連する学位授与方針

①
②
③
④
⑤

関連する教育実施方針

①
②
③
④
⑤
⑥

授業概要

顎矯正手術は、単なる咬合の再構成だけでなく、口腔周囲組織への影響を加味しないとならない。そのためにこれまで多くの先人たちが手術の工夫を施し、術式が発展してきた。本コースでは、基本的な解剖学から見直し、様々な顎矯正手術を通して、改めて鼻腔、咽頭気道を含めた口腔周囲組織の影響について理解することを目的として開講する。

授業科目の学修目標

正常な解剖が3次的にイメージできるようになり、顎骨の移動方向による周囲組織の変化が説明できる事を目的とする。

授業計画

- ①顎顔面領域の解剖学 2コマ 西久保周一
- ②人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 4コマ 西久保周一
- ③顎変形症と閉塞性睡眠時無呼吸症 8コマ 西久保周一
- ④上下顎骨の移動とその周囲組織の変化 8コマ 西久保周一
- ⑤顎変形症および閉塞性睡眠時無呼吸症における基礎研究 8コマ 西久保周一

教科書および参考書

口腔外科学 医歯薬出版、睡眠時無呼吸症候群の診療メソッド—睡眠呼吸障害の集学的治療 中外医学社□

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

教科書・参考図書の内容を十分理解すること

大学院生が達成すべき行動目標

- ①顎骨移動に伴う周囲組織の変化を解剖学に則り、説明できる。
- ②臨床研究における倫理規範を理解し応用することができる。
- ③顎変形症と睡眠時無呼吸における研究論を理解し実践することができる。
- ④顎矯正手術後の周囲組織の変化について説明できる。
- ⑤顎変形症と閉塞性睡眠時無呼吸症の基礎的背景を説明できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	0%	0%	0%	60%	40%

評価の要点

- ・口頭試問は、授業終了後毎回行い知識の理解度を判定する。2%×30回=60%
- ・その他 学会発表を行う。40%×1回=40%

理想的な達成レベルの目安

総合評価で80%以上の達成を求める。